

## 2015年度 日本品質奨励賞の受賞組織について

2015年10月3日

2015年度の日本品質奨励賞の受賞組織が、10月3日に開催された日本品質奨励賞委員会で決定いたしました。本年度はTQM奨励賞1組織となっております。授賞式は、11月11日(水)16時45分から東京・大手町の経団連会館で行われます。

授賞式に引き続き、18時30分から同会館で受賞記念祝賀会が行われます。

また、受賞者による受賞報告講演会は、11月20日(金)に東京・日本教育会館で行われます。

2015年度(平成27年度)

### 受賞組織と受賞理由

#### 【2015年度 日本品質奨励賞 TQM奨励賞受賞組織】

組織名：株式会社マルヤスエンジニアリング

住 所：〒466-0058 名古屋市昭和区白金2丁目7番8号

# 日本品質奨励賞 TQM 奨励賞 選考理由書

## 株式会社マルヤスエンジニアリング

株式会社マルヤスエンジニアリングは 1994 年にマルヤス工業（株）から分離独立し、名古屋市に設立された。以後、製造ラインの設計・製作からメンテナンス、及びユーティリティの供給までを一貫して提供する設備の総合メーカーとして事業拡大を進め、現在は資本金 5000 万円、2014 年度売上高約 42 億円、従業員 67 名の企業でグローバル展開も図っている。設立以来、社長の「継続こそ力」のポリシーのもと一貫して TPM に取り組み 6 回の優秀賞の受賞のほか、2000 年には ISO 9001 の認証取得を果たしている。

2008 年のリーマンショックや 2011 年の東日本大震災の影響、自動車業界の国内生産台数の減少などによる設備投資の抑制もあって、2012 年までの業績は伸び悩んでおり、受注拡大をはじめとして設備メンテナンスの強化や原価の低減、新技術開発、人材育成などが重要な経営課題であった。このため、2013 年に TQM の導入を宣言し、「顧客指向で環境の変化に対応できる企業体質への変革」を目的として、人材の育成をベースにした「顧客指向のつくる物をつくるものづくり」を基本に TQM を推進してきた。グループ会社である（株）セキソー（2014 年度デミング賞受賞）やマルヤス工業（株）と共に、グループワイドの TQM として実践しており、その特徴は以下のとおりである。

- 1) 方針管理体系図を明確に構成し、経営目標の確実な達成のために方針の策定、展開から実施、評価に至るしくみを確実なものにし、経営成果を上げている。
- 2) 製造現場における「なんでも改善」とサークル活動、及び管理者の業務改善から「ワークヘッド（位置・こと）管理」や「ヘッドユニットリビルトカレンダー」など、効果的な設備メンテナンスを全員参加による積極的な改善活動を展開している。
- 3) 「新技術開発管理体系図」を基にした「構想検討書」、「営業的試験」、「可視化技術」による良品条件の見える化などで顧客指向のもの造りのための新技術開発に成功している。
- 4) 人材育成体系の整備を図り、「QC 的ものの見方・考え方」と「QC 手法」による改善活動の実施や「塾・道場教育」などを通してもの造り力の強化を図っている。

このような活動の結果、2012 年度比売上高及び経常利益額の倍増をはじめ、設備停止件数の低減、保全技能士合格者数、QC 検定取得者数、量産前可視化件数などの増加、工程内不良件数、クレーム件数、新規設備製品原価率などの低減や災害発生件数ゼロの維持といった顕著な効果を得ている。

TQM 導入以来短い期間ながら、基本方針としている「顧客指向で環境の変化に対応できる企業体質への変革」を実践するもので、「お客様信頼度」の向上と共に自社のみならずグループ会社の経営にも寄与する活動として高く評価できる。

以上により、株式会社マルヤスエンジニアリングは、日本品質奨励賞 TQM 奨励賞の授賞資格を備えていると判断する。

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

一般財団法人日本科学技術連盟 教育推進部 第一課  
日本品質奨励賞事務局 安随 正巳、池田 晃

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL. 03-5378-1215／FAX：03-5378-9842

E-mail：[tqmsemi@juse.or.jp](mailto:tqmsemi@juse.or.jp)

《日本品質奨励賞 URL》

最新情報は下記の URL からご覧ください。

<http://www.juse.or.jp/jqa/>